

改訂版「中学校数学 1」

学習内容一覧表

本資料は、改訂版「中学校数学 1」および 2020 年度「移行用補助教材」に基づいて、学校での授業と学校の授業以外の場において取り組む学習活動を併用してご指導いただく場合の学習指導計画案を示したものです。

学校の授業以外の場において取り組む学習活動を、出来るだけ多く取り入れる場合を想定して作成しました。本資料を一例とし、地域・学校の状況に合わせて、適宜、学校の授業以外の場において取り組む学習活動を増減いただくなどしてご活用ください。

第 1 章 正の数と負の数	2
第 2 章 文字と式	4
第 3 章 1 次方程式	6
第 4 章 比例と反比例	7
第 5 章 平面図形	9
第 6 章 空間図形	11
第 7 章 資料の整理とその活用	12

※第 1 章の「素因数分解」(本資料 3 ページ)、第 7 章の「累積度数」「ことがらの起こりやすさ」(本資料 12 ページ)は、移行用補助教材を用いて学習いただく内容です。

●本資料では、知識や技能を習得するための指導や、数学的活動を通して思考力・判断力・表現力を養うための指導は、これまでと同様に主に授業で行うことを想定しています。

●学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる主な学習活動は、次の通りです。

(1) 既習内容を定着させるための演習を主とする活動

(例)各節の終わりにある「確認問題」

各章の終わりにある「基本問題」「章の問題 A」

(2) 既習内容を発展・活用させた内容の学習に取り組み、更なる学力向上を目指す活動

(例)各章の終わりにある「章の問題 B」

コラム的な内容である「やってみよう」「考えよう」

発展的な学習内容である「発展」

(1)は、取り組むことによって習熟度が高まると同時に、習熟度が低い箇所を特定することで、以後の授業での学びの効率化を図ることができます。授業での問いかけやノートの点検などで、多くの生徒が苦手とする内容を把握し、授業での指導内容に反映させることが望ましいです。

(2)は、場合によっては、生徒の習熟度に合わせて個別に取り組ませる内容です。特に、習熟度の高い生徒の学力や学習への意欲を向上させることが期待されます。

●予習として取り組むことで、学習内容の見通しを持たせてから授業で扱うなど効率的に指導することが考えられる学習活動は、以下の通りです。

(例)各章の「章とびら」

第1章「正の数と負の数」

(配当時間**25時間**) 学校の授業：**22.2時間**，学校の授業以外の場での学習：**2.8時間**

① 正の数と負の数〔4時間〕 学校の授業：**3.5時間**，学校の授業以外での学習：**0.5時間**

項目	該当頁	学習内容	配当時数 (そのうち授業が 必要な時数)	学校の授業以外の場での 学習が可能と考えられる 学習活動とその時数
章とびら	p.12, 13		2 (2)	
符号のついた数	p.14~17	正の符号，負の符号 正の数，負の数の表し方 自然数の定義 高さと深さを符号を使って表す 位置を符号を使って表す 移動を符号を使って表す ちがいを符号を使って表す 反対の性質をもつ数量を表す		
数の大小	p.18~20	数直線 数の大小を不等号を使って表す 絶対値 数の大小	2 (1.5)	p.21「確かめよう」に事前に取り組み，わからない問題を特定しておく。 p.21「やってみよう」は，生徒の習熟度に応じて，個別に取り組みることが可能。 【0.5時間】
確かめよう	p.21	節末の確認問題		
	p.21	やってみよう		

② 加法と減法〔7時間〕 学校の授業：**6.5時間**，学校の授業以外での学習：**0.5時間**

加法	p.22~26	符号が同じ数の和 符号が異なる数の和 正の数，負の数の加法のまとめ 0との和 加法の計算法則(交換法則，結合法則)	3 (3)	
減法	p.27~29	正の数をひく計算 負の数をひく計算 正の数，負の数の減法のまとめ 0との差 小数や分数の計算	2 (2)	
加法と減法の混じった式	p.30, 31	加法だけの式になおす 正の項，負の項 加法と減法の混じった式の計算	2 (1.5)	p.32「確かめよう」に事前に取り組み，わからない問題を特定しておく。 p.32「考えよう」は，生徒の習熟度に応じて，個別に取り組みることが可能。 【0.5時間】
確かめよう	p.32	節末の確認問題		
	p.32	考えよう		

③ 乗法と除法〔7時間〕 学校の授業：**6.7時間**，学校の授業以外での学習：**0.3時間**

乗法	p.33~39	正×正，正×負 の意味 負×正，負×負 の意味 正の数，負の数の乗法のまとめ 乗法の計算 -1や1との積 小数や分数の乗法 乗法の計算法則(交換法則，結合法則) 積の符号と絶対値 累乗の指数を使って表す	4 (4)	
----	---------	---	----------	--

		累乗の計算		
除法	p.40~43	除法の意味 正の数、負の数の除法のまとめ 除法の計算 小数の除法 除法の結果を分数で表す 逆数 除法を乗法になおして計算する 乗法と除法の混じった式の計算	3 (2.7)	p. 43「確かめよう」に事前に取り組み、わからない問題を特定しておく。 【0.3時間】
確かめよう	p.43	節末の確認問題		

④ いろいろな計算〔4時間〕 学校の授業：3.5時間，学校の授業以外での学習：0.5時間

四則	p.44~47	計算の順序 加法と乗法の混じった式の計算 四則の混じった式の計算 分配法則とその利用 数の集合 数の集合と四則計算	2 (2)	
正の数、負の数の利用	p.48~50	基準となる数を決めて正の数、負の数で表す 基準を決めて平均値を求める(仮平均)	2 (1.5)	p. 50「確かめよう」に事前に取り組み、わからない問題を特定しておく。 【0.5時間】
確かめよう	p.50	節末の確認問題		

◇ 素因数分解〔1時間〕 学校の授業：1時間，学校の授業以外での学習：0時間

素因数分解	移行用 補助教材 p.2, 3	素数、素因数の意味 素因数分解する方法	1 (1)	
-------	-----------------------	------------------------	----------	--

章末〔2時間〕 学校の授業：1時間，学校の授業以外での学習：1時間

	p.51	基本問題	2 (1)	p. 51, 52「基本問題」「章の問題A」に事前に取り組み、わからない問題を特定しておく。 p. 53「章の問題B」「やってみよう」は、生徒の習熟度に応じて、個別に取り組むことが可能。 【1時間】
	p.52	第1章の問題A		
	p.53	第1章の問題B		
	p.53	やってみよう		

第2章「文字と式」

(配当時間 18時間) 学校の授業：15.2時間，学校の授業以外の場での学習：2.8時間

① 文字と式 [6時間] 学校の授業：5.5時間，学校の授業以外での学習：0.5時間

項目	該当頁	学習内容	配当時間 (そのうち授業が 必要な時間)	学校の授業以外の場での 学習が可能と考えられる 学習活動とその時間
章とびら	p.54, 55		1 (1)	
文字を使った式	p.56, 57	文字の必要性 文字式 2種類の文字を使った文字式		
文字式の表し方	p.58, 59	積の表し方，累乗の表し方 商の表し方 積と商の混じった式の表し方 文字式を \times ， \div を使って表す	1 (1)	
いろいろな数量と文字式	p.60~62	代金に関する文字式 速さや道のりに関する文字式 割合に関する文字式 文字式の表す数量 計算法則と文字式 規則性を見つけて文字式で表す	2 (2)	
式の値	p.63, 64	代入の意味と方法 1種類の文字の式に代入 2種類の文字の式に代入	2 (1.5)	p.65「確かめよう」に事前 に取り組み，わからない問題を 特定しておく。
確かめよう	p.65	節末の確認問題		【0.5時間】

② 文字式の計算 [10時間] 学校の授業：8.7時間，学校の授業以外での学習：1.3時間

1次式の加法，減法	p.66~69	項と係数 式をまとめる方法（文字の項のみ） 式をまとめる方法（文字の項と数の項） 1次式の加法 1次式の減法	3 (3)	
1次式と数の乗法，除法	p.70~73	1次式と数の乗法 項が2つある1次式と数の乗法 分数の形の式と数の乗法 1次式と数の除法 項が2つある1次式と数の除法 かっこのある1次式の計算	3 (2.7)	p.73「やってみよう」は，生 徒の習熟度に応じて，個別 に取り組むことが可能。 【0.3時間】
	p.73	やってみよう		
関係を表す式	p.74~78	文字を使った公式 π の導入・円に関する公式	4 (3)	p.75, 80「やってみよう」は， 生徒の習熟度に応じて，個別 に取り組むことが可能。 p.79「確かめよう」に事前 に取り組み，わからない問題を 特定しておく。 【1時間】
	p.75	やってみよう		
		等式の意味 等式を使って関係を表す 不等式の意味，大小関係を式で表す 以上，以下，未満，不等式の表し方		
確かめよう	p.79	節末の確認問題		
	p.80	やってみよう		

章末 [2時間] 学校の授業：1時間，学校の授業以外での学習：1時間

	p.81	基本問題	2	p.81, 82「基本問題」「章の問 題A」に事前に取り組み，わ
	p.82	第2章の問題A	(1)	

	p.83	第2章の問題B		からない問題を特定しておく。 p.83「章の問題B」は、生徒の習熟度に応じて、個別に取り組むことが可能。 【1時間】
--	------	---------	--	---

第3章「1次方程式」

(配当時間 16時間) 学校の授業：13.5時間，学校の授業以外の場での学習：2.5時間

① 1次方程式〔9時間〕 学校の授業：8.3時間，学校の授業以外での学習：0.7時間

項目	該当頁	学習内容	配当時数 (そのうち授業が 必要な時数)	学校の授業以外の場での 学習が可能と考えられる 学習活動とその時数
章とびら	p.84, 85		1 (1)	
方程式とその解	p.86, 87	等式を成り立たせる文字の値 方程式の解の意味		
等式の性質	p.88~90	等式の性質 両辺に同じ数をたして解く 両辺から同じ数をひいて解く 両辺に同じ数をかけて解く 両辺を同じ数でわって解く 等式の性質を使って方程式を解く	2 (2)	
1次方程式の解き方	p.91~95	移項を利用した方程式の解き方 2つの項を同時に移項して解く	4 (3.8)	p.93「やってみよう」は、生徒の習熟度に応じて、個別に取り組むことが可能。 【0.2時間】
	p.93	やってみよう かっこのある1次方程式 係数に小数をふくむ1次方程式 係数に分数をふくむ1次方程式 1次方程式を解く手順のまとめ		
比例式	p.96, 97	比の値と比例式 比例式を満たすxの値を求める 比例式の性質を利用した解き方	2 (1.5)	p.98「確かめよう」に事前に取り組む、わからない問題を特定しておく。
確かめよう	p.98	節末の確認問題		【0.5時間】

② 1次方程式の利用〔5時間〕 学校の授業：4.2時間，学校の授業以外での学習：0.8時間

1次方程式の利用	p.99~103	1次方程式をつくる手順と解き方 代金や所持金の問題 過不足に関する問題 速さに関する問題 解の吟味の必要性	5 (4.2)	p.103「やってみよう」は、生徒の習熟度に応じて、個別に取り組むことが可能。 p.104「確かめよう」に事前に取り組む、わからない問題を特定しておく。
	p.103	やってみよう		
確かめよう	p.104	節末の確認問題		【0.8時間】

章末〔2時間〕 学校の授業：1時間，学校の授業以外での学習：1時間

発展「不等式の性質」	p.105	基本問題	2 (1)	p.105, 106「基本問題」「章の問題A」に事前に取り組む、わからない問題を特定しておく。 p.107~109「章の問題B」「発展」は、生徒の習熟度に応じて、個別に取り組むことが可能。 【1時間】
	p.106	第3章の問題A		
	p.107	第3章の問題B		
	p.108, 109	不等式を立式する 不等式の性質を考える		

第4章「比例と反比例」

(配当時間 16時間) 学校の授業：14時間, 学校の授業以外での学習：2時間

① 比例 [8時間] 学校の授業：7.5時間, 学校の授業以外での学習：0.5時間

項目	該当頁	学習内容	配当時間数 (そのうち授業が 必要な時間数)	学校の授業以外での 学習が可能と考えられる 学習活動とその時間数
章とびら	p.110, 111		1 (1)	
関数	p.112, 113	x と y の関係と表 関数の考え 変数, 変域, 不等式による変域の表し方		
比例	p.114~117	比例の意味 定数, 比例定数の意味 比例と x, y の増え方の関係 比例の関係と変域 変数を負の数にひろげた場合の比例の関係 比例の式の求め方	3 (3)	
座標	p.118, 119	座標に関する定義と意味 座標平面 点の読み取り 点を座標上に表す	1 (1)	
比例のグラフ	p.120~123	比例の関係を点プロットで図に示す 比例のグラフの意味, グラフをかく 比例と比例のグラフの特徴 比例のグラフのかき方 グラフから比例の式を求める	3 (2.5)	p.124「確かめよう」に事前 に取り組み, わからない問題を 特定しておく。 【0.5時間】
確かめよう	p.124	節末の確認問題		

② 反比例 [4時間] 学校の授業：3.5時間, 学校の授業以外での学習：0.5時間

反比例	p.125~128	長方形の面積と辺の関係から反比例を知る 反比例を表す式, 比例定数の意味 変数を負の数にひろげた場合の反比例の関係 反比例の式の求め方	2 (2)	
反比例のグラフ	p.129~131	反比例の関係を点プロットで図に示す 反比例のグラフとその形 反比例のグラフをかく 反比例のグラフの特徴のまとめ	2 (1.5)	p.132「確かめよう」に事前 に取り組み, わからない問題を 特定しておく。 【0.5時間】
確かめよう	p.132	節末の確認問題		

③ 比例と反比例の利用 [2時間] 学校の授業：2時間, 学校の授業以外での学習：0時間

比例と反比例の利用	p.133~135	ビーズの個数やある液体に関する 比例の利用 電子レンジの出力と時間に関する 反比例の利用 速さと道のりに関するグラフの利用	2 (2)	
-----------	-----------	---	----------	--

章末 [2時間] 学校の授業：1時間, 学校の授業以外での学習：1時間

	p.136	基本問題	2 (1)	p.136, 137「基本問題」「章の 問題 A」に事前に取り組み, わからない問題を特定して おく。 p.138, 139「章の問題 B」「や ってみよう」は, 生徒の習熟
	p.137	第4章の問題 A		
	p.138	第4章の問題 B		
	p.139	やってみよう		

				度に応じて、個別に取り組むことが可能。 【1 時間】
--	--	--	--	-------------------------------

第5章「平面図形」

(配当時間 17時間) 学校の授業：13.6時間，学校の授業以外での学習：3.4時間

① 平面図形 [5時間] 学校の授業：4.5時間，学校の授業以外での学習：0.5時間

項目	該当頁	学習内容	配当時間 (そのうち授業が 必要な時間)	学校の授業以外での 学習が可能と考えられる 学習活動とその時間
章とびら	p.140, 141		2 (2)	
直線と角	p.142~144	直線，線分などに関する定義 点と直線の距離 2直線の平行 直線と直線の距離 角と三角形の表し方		
図形の移動	p.145~148	移動の意味 平行移動の意味と図示 回転移動の意味と図示 点対称移動 対称移動の意味と図示 図形の移動の組み合わせ	3 (2.5)	p.149「確かめよう」に事前 に取り組み，わからない問題を 特定しておく。 【0.5時間】
確かめよう	p.149	節末の確認問題		

② 作図 [5時間] 学校の授業：3.9時間，学校の授業以外での学習：1.1時間

基本の作図	p.150~156	作図の意味と約束ごと 中点，垂直二等分線の意味 垂直二等分線の作図とその性質 角の二等分線の意味 角の二等分線の作図とその性質 垂線の意味とその作図	3 (2.7)	p.156「考えよう」は，生徒の 習熟度に応じて，個別に取り 組むことが可能。 【0.3時間】
	p.156	考えよう		
いろいろな作図	p.157	等しい距離にある点の作図	2 (1.2)	p.157「やってみよう」は，生 徒の習熟度に応じて，個別に 取り組むことが可能。 p.158「確かめよう」に事前 に取り組み，わからない問題を 特定しておく。 【0.8時間】
	p.157	やってみよう		
確かめよう	p.158	節末の確認問題		

③ 円とおうぎ形 [5時間] 学校の授業：4.2時間，学校の授業以外での学習：0.8時間

円	p.159~161	円に関する用語 弦の垂直二等分線の作図 円の弦の性質 円と直線，接線の性質 円の接線に関する作図	2 (2)	
おうぎ形	p.162~165	円の周の長さ，面積 おうぎ形の定義 おうぎ形の弧の長さとの面積 おうぎ形の面積を弧の長さとの半径を 使って求める おうぎ形の中心角の求め方	3 (2.2)	p.165「やってみよう」は，生 徒の習熟度に応じて，個別に 取り組むことが可能。 p.166「確かめよう」に事前 に取り組み，わからない問題を 特定しておく。 【0.8時間】
	p.165	やってみよう		
確かめよう	p.166	節末の確認問題		

章末〔2 時間〕 学校の授業：1 時間，学校の授業以外での学習：1 時間

	p.167	基本問題	2 (1)	<p>p. 167, 168「基本問題」「章の問題 A」に事前に取り組み、わからない問題を特定しておく。</p> <p>p. 169～171「章の問題 B」「考えよう」「発展」は、生徒の習熟度に応じて、個別に取り組むことが可能。</p> <p>【1 時間】</p>
	p.168	第 5 章の問題 A		
	p.169	第 5 章の問題 B		
	p.169	考えよう		
発展「三角形の外心，内心」	p.170, 171	三角形の外接円，外心の意味と作図 三角形の内接円，内心の意味と作図		

第6章「空間図形」

(配当時間 18時間) 学校の授業：15.7時間，学校の授業以外の場での学習：2.3時間

① 空間図形〔8時間〕 学校の授業：7.2時間，学校の授業以外での学習：0.8時間

項目	該当頁	学習内容	配当時数 (そのうち授業が 必要な時数)	学校の授業以外の場での 学習が可能と考えられる 学習活動とその時数
章とびら	p.172, 173			
いろいろな立体	p.174~176	多面体の分類 角柱の面の形と数 角錐，円錐の意味と用語 正多面体の意味と種類	2 (2)	
空間における平面と直線	p.177~182	平面の決定 空間における2直線の位置関係 直線と平面の位置関係 2平面の位置関係 点と平面の距離 2平面の距離 錐体や柱体の高さ	3 (3)	
立体のいろいろな見方	p.183~187	面や線が動いてできる立体 回転体の意味 投影図の意味 投影図の読み取り，投影図をかく	3 (2.2)	p.187, 189「やってみよう」 「発展」は，生徒の習熟度に 応じて，個別に取り組むこと が可能。 p.188「確かめよう」に事前に 取り組み，わからない問題を 特定しておく。 【0.8時間】
	p.187	やってみよう		
確かめよう	p.188	節末の確認問題		
発展「立体の切断」	p.189	立方体の切断		

② 立体の表面積と体積〔8時間〕 学校の授業：7.5時間，学校の授業以外での学習：0.5時間

立体の表面積	p.190~193	角柱，円柱の展開図と長さ 角柱，円柱の表面積 角錐，円錐の展開図と長さ 角錐，円錐の表面積	3 (3)	
立体の体積	p.194, 195	角柱，円柱の体積 角錐，円錐の体積	2 (2)	
球の表面積と体積	p.196, 197	球の表面積の求め方 球の体積の求め方	3 (2.5)	p.198「確かめよう」に事前に 取り組み，わからない問題を 特定しておく。 【0.5時間】
確かめよう	p.198	節末の確認問題		

章末〔2時間〕 学校の授業：1時間，学校の授業以外での学習：1時間

	p.199	基本問題	2 (1)	p.199, 200「基本問題」「章の 問題 A」に事前に取り組み， わからない問題を特定して おく。 p.201「章の問題 B」「やっ てみよう」は，生徒の習熟度 に応じて，個別に取り組む ことが可能。 【1時間】
	p.200	第6章の問題 A		
	p.201	第6章の問題 B		
	p.201	やってみよう		

第7章「資料の整理とその活用」

(配当時間 12時間) 学校の授業：10.4時間，学校の授業以外の場での学習：1.6時間

① 資料の整理とその活用〔10時間〕 学校の授業：8.9時間，学校の授業以外での学習：1.1時間

項目	該当頁	学習内容	配当時数 (そのうち授業が 必要な時数)	学校の授業以外の場での 学習が可能と考えられる 学習活動とその時数
章とびら	p.202, 203		3 (2.7)	p. 207「やってみよう」は、生徒の習熟度に応じて、個別に取り組むことが可能。 【0.3時間】
度数の分布	p.204~207	資料の散らばりと範囲 度数分布表の作り方と見方 ヒストグラムの作り方 度数折れ線の作り方		
	p.207	やってみよう		
資料の比較	p.208, 209	相対度数の作り方と読み取り 相対度数折れ線の意味	1 (1)	
◇累積度数	移行用 補助教材 p.4, 5	累積度数 累積度数分布表 累積相対度数	1 (1)	
資料の代表値	p.210~214	代表値，平均値 度数分布表から平均値を求める 中央値の意味と求め方 最頻値の意味と求め方	3 (2.7)	p. 214「考えよう」は、生徒の習熟度に応じて、個別に取り組むことが可能。 【0.3時間】
	p.214	考えよう		
近似値と有効数字 ※3年で指導	p.215, 216	近似値と誤差 近似値の範囲 有効数字の表し方 $a \times 10^n$ の表記法	—	
資料の活用	p.217~220	資料の活用（自宅での学習時間） いろいろな問題（温暖化問題） 人口ピラミッド（少子高齢化問題）	2 (1.5)	p. 221「確かめよう」に事前に取り組む，わからない問題を特定しておく。 【0.5時間】
確かめよう	p.221	節末の確認問題		

◇ ことからの起こりやすさ〔1時間〕 学校の授業：1時間，学校の授業以外での学習：0時間

ことからの起こりやすさ	移行用 補助教材 p.6~8	ことからの起こりやすさ 統計における男女の出生比率 多数回の実験	1 (1)	
-------------	----------------------	--	----------	--

章末〔1時間〕 学校の授業：0.5時間，学校の授業以外での学習：0.5時間

	p.222	第7章の問題A	1 (0.5)	p. 222「章の問題A」に事前に取り組む，わからない問題を特定しておく。 p. 223「章の問題B」「発展」は、生徒の習熟度に応じて、個別に取り組むことが可能。 【0.5時間】
	p.223	第7章の問題B		
「発展」箱ひげ図	p.223	鹿せんべい飛ばしに関する箱ひげ図		